

第2学年3組 生活科学習指導案

1. 単元名 やさいよ 大きくなあれ

2. 単元について

(1) 児童の実態について

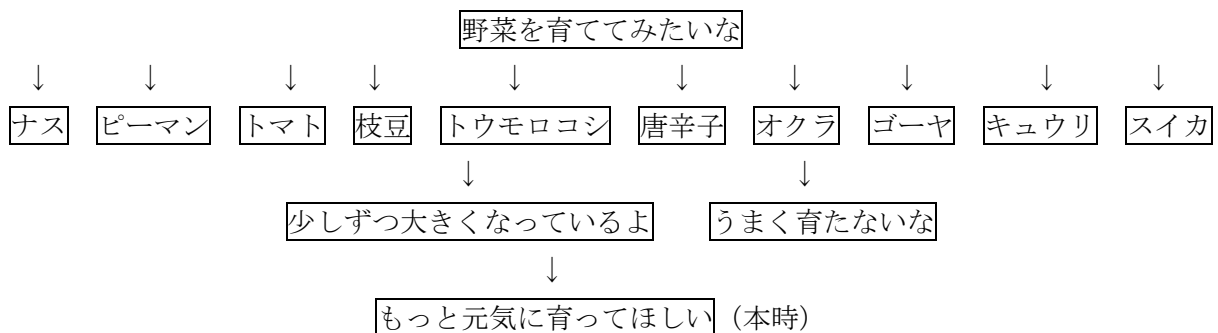
本学級の児童は、普段の様子から、植物の種や葉を拾い、友達や教師に積極的に見せたり伝えたりと、身近な植物に興味・関心を示している姿が見られる。また、国語の授業での観察を通して、進んで自分の育てる植物を観察し、その成長に気付き、「実が大きくなってきた」「つるがのびているので早く支柱を立てたい」など話している児童もいる。一方で、自分の植物がうまく育たず、悲しんでいる様子の児童もいる。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（7）を受けて設定したものである。ここでは、児童が自らの手で継続的に植物を育てることを通して、身近な植物に興味・関心をもち、その成長に気付くとともに、植物を大切にすることができるようになることをねらいとしている。

単元を構成するにあたって、児童それぞれが世話の仕方を考えたり、成長や変化を観察し、気付けるようにする。また、教室の前に鉢植えを置いて毎日世話をしたり、国語科の「かんさつ名人になろう」など、他教科との関連を図ることで、野菜とのかかわりを深めることで、意欲的に野菜の世話に取り組めるようし、野菜を育てることの楽しさを育てられるようにする。鉢植えと花壇で違う野菜を育てたり、自分とは違う野菜を育てている友達と交流したりすることで、共通点や相違点に気付きやすくなると考えられる。また、自らの手で野菜を育てていくことで、収穫できた時の満足感や達成感を味わえるようにする。

(3) 児童の意識



3. 単元の目標

野菜の種をまいたり、苗を植え付けたりして、野菜が成長していることに気付き、育てることに親しみをもつことができるようにする。

4. 単元の指導計画・評価計画（15時間扱い）

（1）単元の評価規準と小単元の評価規準

		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
単元の評価規準		野菜の様子に関心をもち、育てることに親しみをもって栽培していこうとしている。	工夫して世話するとともに、世話したことや野菜のことなどについて表現している。	野菜を育てることにより、野菜の成長や栽培の仕方に気付いている。
小単元の評価規準	1 やさいをうえるじゅんぴをしよう (2)	①野菜の栽培に関心をもち、野菜のことをしらべたり土作りをしようとしている。	①野菜に適した土作りや世話の仕方を調べたり、考えたりしている。	①野菜にあった世話の仕方があることに気付いている。
	2 やさいをうえてそだてよう (6)	②野菜の種まきや苗の植え付けに関心をもち、調べたことを生かして意欲的に取り組もうとしている。	②野菜の種まきや苗の植え付けの仕方について調べたことを生かして種まきや植え付けをしている。	②育てている野菜の成長や変化の様子に気付いている。
	3 やさいをしゅうかくしよう (2)	③野菜の成長に関心をもち、収穫しようとしている。	③野菜の収穫の時期をについて調べたり、考えたりしている。	③夏休み前の花壇の様子と比べ、野菜の成長の様子や季節の変化に気付いている。
	4 やさいをうえてそだてよう 2 (5)	④秋から育てる野菜に関心をもち、これからも野菜の世話をしようとしている。	④春の種まきの時のことを振り返り、種まきやその後の世話をしている。	④野菜の世話が上手になっていることに気がついている。

(2) 単元の指導計画・評価の視点

小単元名・ねらい	主な活動（時数）	評価規準から想定した具体的な子どもの姿	評価方法
2 やさいをうえてそだてよう（6時間） ※本時4・5／6時 ◎自分の野菜の世話をしたり、観察することで、成長の様子に気づき、大切に育てることができるようにする。	①植木鉢や花壇に、種をまいたり苗を植え付けたりする。（1） ②育てている植物の観察し、野菜のお世話の仕方を考える。（2） ③育てた植物を観察し、成長の様子や、他の野菜との違いなどを記録していく。（3） ④育てた植物の成長や他の野菜との違いをまとめ、発表する。（1）	関-② ・自分が育てている野菜に関心をもち、継続して世話をしている。 ・観察した野菜の様子から、よりよいお世話の仕方を考えようとしている。 ・観察して気付いたことを、友達に伝えようとしている。 思-② ・自分の育てている野菜の成長の様子を絵や文で表現している。 ・自分の野菜がどうしたら元気に育つかを考えている。 気-② ・育てている野菜の成長や変化の様子に気付いている。 ・植物にも自分たちと同じように生命があり、生きていることに気付いている。 ・他の野菜との共通点や違いにきづくことができる。	行・自 行・発 行・発 作・ノ 発・つ 作・ノ・つ 作・ノ・つ 作・ノ

【行行動、発発言、作作品、ノノート、つつぶやき、自自己評価カードによる評価を示す。】

5. 本時の学習指導（第2次 4・5／6時）

(1) 目 標

自分の野菜を観察しその成長に気づき、よりよい世話の仕方を考えることができるようにする。

(2) 展 開

児童の活動・意識	評価（●）と支援（○）	準備	時間
1. 今までの野菜の成長を振り返る。	○日常や国語科の授業での観察などを通して、どんな成長があったかを問う。		5′
2. 2枚の写真を掲示し、問題について知り、課題をつかむ。 ・実がなっているよ。 ・まだ芽が出ていないよ。	○よく育っている野菜と芽が出ていない野菜の2枚の写真を掲示し、気づいたことを挙げていく。 ○よく育っている野菜も芽が出ていないような野菜もどうしたらよりよく育つか、考える必要があると感じられるようにする。	・写真 ・マグネット	10′

	おせわのしかたを 考えよう。	
3. 今まで自分たちが行ってきたお世話を挙げて、毎日の世話の仕方を見直す。 ・水やりを行ってたよ。 ・雑草をぬいたりしたよ。 ・水をあげると土の色が変わるよ。	○特に水やりを中心に見直していくようにする。 ○天気に合わせて水のあげる量や、頻度を変える必要があることを気付けるようにする。	15 分
4. 芽が出ていない野菜に戻ってどうしたらいいか考えたり、もう一枚の写真を掲示して、課題と解決方法を探すようにする。 ・もう一度植える。 ・友達からもらう。 ・たおれたままだと、周りの野菜の邪魔になっちゃうよ。 ・支柱をたてよう。	○たおれたまま育っている野菜の写真を掲示する。気付いたことをあげながら問題を把握していき、解決方法を探していく。 ○解決方法がなかなかでないものに関しては、教員から案を提示する。	・写真 15 分
5. 各自の課題を考えて、それに応じた世話をする。	○4の活動を基に、自分の野菜の課題と解決方法がわかるようにする。 ○課題がわからずに困っている児童がいれば、一緒に考えるようにする。 ○支柱を扱う場合など、周りとの間隔をあけるようにし、安全面に配慮する。 ○時間に余裕があれば、花壇の方も行こう。 ●自分の野菜を見て、より元気になるにはどうしたらいいのかを考え、そ	・支柱 ・針金 ・スコップ (雨天時) ・新聞紙 20 分

6. ノートに今日の活動や野菜の成長や気づいたことなどを記録する。 7. 書いた記録を発表する。 8. 本時のまとめをする。	れに合わせた世話を行っている。 (思考・表現) 行 ○植えたときと比べて、どのくらい成長していたかなども考えられるようにする。 ○絵を描いた児童がいたら、書画カメラを使用して、クラスに見せるようにする。 ○これからもよりよい世話を心がけて、日常的に世話をすることをまとめとする。	10 分 12 分 3 分
---	---	------------------------------------

6. 備 考 在籍児童数 35 名